

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	蓼科の水と六川長三郎物語
事業主体 (連絡先)	六川長三郎と塩沢堰を伝える会 (事務局会計 今井 清 090-2157-4384)
事業区分	(3) 教育、文化スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	484,024 円 (うち支援金: 304,000 円)

事業内容

「六川長三郎と塩沢堰」の講演会開催
6月3日 町内外から84名参加
「六川長三郎と蓼科の水」の案内看板設置
6月3日 除幕式開催
「六川長三郎と塩沢堰を学ぶバスツアー」開催
7月16日 参加者34名
「蓼科の水と六川長三郎物語」ガイドパンフレット
5,000部作製
東部地区、小・中・高校、町内施設・観光施設・土地改良区などに配付
立科小学校(11月15日)と立科中学校(11月8日)で
全児童・生徒対象に「歴史授業」の開催



【中学校歴史授業校】

【目標・ねらい】

- ① 先人の偉業を後世に語り継ぐ
- ② 蓼科の水の大切さを伝える
- ③ ふるさとへの思いを伝える
- ④ 地域のつながりと誇りを知る

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

講演会では、地域内外に広く六川長三郎と塩沢堰の関わりと立科町の成り立ちや稲作・新田開発について周知することができ、受講者にも大変好評をいただいた。
看板の設置により、子供たちにも地域の成り立ちについてわかりやすく伝えることができるようになった。
バスツアーでは、塩沢堰の水源や水路をめぐる参加者から貴重な体験ができた満足いただいた。
パンフにより、地域の皆さんから大変わかりやすく、地域を見直すきっかけになったとの声をいただいた。
小中学校での歴史授業では、子供たちからたくさんの感想が届いた。後世につながるきっかけになる。

※自己評価【 A 】

【理由】講演会は参加者が多く受講者からの反応が実感できた。
歴史授業での生徒の感想文を読むと蓼科の水の大切さと先人の努力や思いを伝えてくれると確信した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この事業をきっかけに先人のたゆまない努力と奉仕の精神を学び、地域住民がこの地域に生まれた幸せを実感し、一体となってふるさとへの思いや誇りを末永く伝えることを目指したい。
次世代を担う子供たちに、町の歴史に興味を持ってもらい、立科町への愛着と奉仕や忍耐の精神をつなげる地域教育を推進したい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある